

# 2019年度(2019年 4月～2020年 3月)安全衛生管理計画書

<b>重点方針</b>
<b>墜落・転落災害の絶滅</b>
<b>重点活動項目</b>
1. 現地KY時に「リスクアセスメント」を確実に実施する
2. すべての安全情報を作業者一人一人に確実に伝達する
3. 送り出し教育及び新規入場者教育の実施率を100%とする
4. 安全作業手順書を活用して確実に作業指示を行う

安	安全に関する役職名	役 職 名	氏 名
全	統括安全衛生管理者	代表取締役社長	小 野 勘
衛	担 当 役 員	執行役員 工事サービス本部本部長	三 須 辰 彦
生	雇用管理責任者	経理室長	遠 藤 彰 彦
関	安 全 管 理 者	品質グループ	遠 藤 清
係	衛 生 管 理 者	経理室長	遠 藤 彰 彦
管	産 業 医	郡山病院院長	佐 藤 光 一
理	安全衛生推進者		
者	安 全 担 当 者	現場代理人	

福島県郡山市鶴見坦一丁目14番5号

エヌケーグループ

代表取締役社長 小野 勘

重点実施項目	実施項目	目標	担当	年間(年度)スケジュール													実施上の留意点	備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1. 現地KY時に「リスクアセスメント」を確実に実施する	①リスクアセスメントの実施方法、活用についての教育の実施	5月、11月 100%受講	安全衛生委員会														リスクアセスメント手法、危険性、有害性の洗い出しと評価方法及び安全対策について教育する	
	②現地KY時に「リスクアセスメント」を確実に実施する	実施率 100%	工事担当者														必ず、現地で実施する	
	③リスクアセスメントの実施状況を確認し、活用促進を行う	現場巡回時 毎回	各拠点長														月次パトロールで繰り返し	
2. すべての安全情報を作業者一人一人に確実に伝達する	①顧客の協議会や各種教育で得た安全情報は、各現場担当者及び協力業者事業主へ確実に伝達する	実施率 100%	各拠点長														文書で伝達する	
	②すべての通達や指示事項などの安全情報は、作業者一人一人に確実に伝達する	実施率 100%	工事担当者														朝礼・TBM・ミニ集会などで伝達する	
	③伝達した安全情報は正しく理解されているかどうかの確認をする	月次安パト 毎月1回	各拠点長														理解した情報を確認する	
	④工事担当者、職長の教育	5月、11月 100%	各拠点長														伝達の重要性、伝達の方法 集会の開催方法など	
	⑤安全衛生協議会及び各種安全行事への積極的参加	参加率 100%	各拠点長 工事担当者														安全週間 衛生週間 年末年始年度末 協力業者事業主、職長、 作業員を含め積極的に参加	
3. 送り出し教育及び新規入場者教育の実施率を100%とする	①現場の特殊性を盛り込んだ教育資料の作成	実施率 100%	工事担当者														現場の特殊性を盛り込む	
	②災害防止とトラブル防止の観点にたつて、内容のある送り出し教育を実施する	実施率 100%	工事担当者														小工事、改修工事は 特に入念に行う	
	③パトロールによる実施状況の確認	毎月1回 100%	各拠点長														記録、教育内容も点検する	
	④工事担当者の教育	5月、11月 100%	各拠点長														教育の重要性、教育方法 資料作成方法を指導する	
4. 安全作業手順書を活用して確実に作業指示を行う	①現地確認後、安全作業手順書を作成する 現場に合った安全作業手順書を作成する	作成率 100%	工事担当者 職長														改修、修繕工事は 特に入念に作成する	
	②安全作業手順書を作成の上周知徹底し、安全作業手順書を活用して確実に作業指示を行う	活用率	工事担当者														作業指示は安全作業手順書 を活用して書類で行う	
	③作業が手順書通り行われているかを確認する	現場巡回時	工事担当者														毎日の現場巡回で行う	
	④不安全な状態、作業環境、不安全な行動、がないか確認する																	
	⑤資格が必要な作業は、資格証を携帯しているか確認する	毎回	各拠点長														管理者の月次パトロールで確認する	
5. 安全衛生大会の実施	①外部講師による教育の実施	5月 開催	安全衛生委員会															

## 2019年度(2019年 4月～2020年 3月)安全衛生活動計画書

<b>重点活動項目</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現地KY時に「リスクアセスメント」を確実に実施する</li> <li>2. すべての安全情報を作業員一人一人に確実に伝達する</li> <li>3. 送り出し教育及び新規入場者教育の実施率を100%とする</li> <li>4. 安全作業手順書を活用して確実に作業指示を行う</li> </ol>
---------------	--

月	行事等	安全衛生実施項目	安全衛生委員会	安全衛生協議会	安全衛生パトロール	安全衛生教育				備考
						福島	宮城	山形	岩手	
4	・安全衛生活動方針伝達 ・新入学児童・園児を交通事故から守る運動 (4/5～4/11)	1. 安全関係書類の整備 2. 送り出し教育の実施状況点検 3. 通勤時交通災害の防止	4月2日	○	○					
5	・安全教育 ・春の全国交通安全運動 (11～20) ・安全衛生大会 (5/31)	1. リスクアセスメントの実践強化 2. 安全施工サイクルの確認と実践 3. 一声掛け合い運動	5月14日		○	○	○	○		
6	・全国安全週間準備月間 (1～30)	1. 現場パトロールの強化 2. 持込機器の点検整備 3. 整理整頓清掃の徹底	6月4日		○					
7	・全国安全週間 (1～7) ・熱中症予防月間 (1～31)	1. 現場パトロールの強化 2. 服装、保護具の点検整備 3. 指差呼称の実践強化	7月2日	○	○					
8	・電気使用安全月間 (1～31) ・熱中症予防月間 (1～31)	1. 感電事故防止の徹底 2. 電動工具の点検整備 3. 適正足場使用の徹底	8月6日		○					
9	・全国労働衛生週間準備月間 ・秋の交通安全運動(9/21～9/30)	1. 作業環境の点検整備 2. 健康診断受診状況の確認 3. 交通災害の防止	9月3日		○					
10	・全国労働衛生週間 (1～7)	1. 作業員自己管理の徹底 2. 有資格作業の確認 3. 開口部の点検整備、養生	10月8日	○	○					
11	・秋の全国火災予防運動 (11/9～11/15) ・安全教育	1. 火気使用作業の点検 2. リスクアセスメントの実践強化 3. 指差呼称の実践強化	11月5日		○	○	○	○		
12	・年末年始労働災害防止強調期間 (2019.12/1～2020.1/15)	1. 現場パトロールの強化 2. 通勤時交通災害の防止 3. 安全作業手順書の活用状況の点検	12月3日		○					
1	・年末年始労働災害防止強調期間 (2019.12/1～2020.1/15) ・安全祈願 (1/16)	1. 現場パトロールの強化 2. 高所作業車の使用前点検状況の確認 3. リスクアセスメントの実践状況の確認	1月14日	○	○					
2	・全国生活習慣病予防月間(1～28) ・火災予防運動(1～28)	1. 作業員自己管理の徹底 2. 火災予防と火元責任者の明示 3. 指差呼称の実践強化	2月4日		○					
3	・年度末災害防止強調月間(1～31) ・全国火災予防運動(1～7)	1. 現場パトロールの強化 2. 建設機械・クレーン等災害の防止 3. 安全作業手順書の活用状況の点検	3月3日		○					